



常磐文藝

雪降る夜に (一)

星影生

チラリ／＼と銀木犀の花弁の散るやうに鷺毛に似た雪が空を織つて居る。冷たい夜を忍びやかに通る微かな足音と、歌なく踊る雪の片々よ。

私は今、燃に崩れる滑火の爐邊で、しつかりと濡れた冬の夜の沈黙を聴き、白雪の齋すさ／＼やかな旋律に耳を傾けて居る。

募集

文藝其他一般投稿を歓迎します

毀ぼちては積む、一ツツ積み重ねて築いた時、闇の悪魔が銀の鶴嘴を以て破壊して丁う侘しい思ひがする。ドドクと風が林に喚めくと意識の断片を閃めかして鮮かにする。

(一) 可認郵便物第三日一十月一十年二十正大



刊夕日十月一十

定 定價一部金貳錢  
月極ニ限リ一ヶ月卅錢

料告廣 廣告料五號十三字詰  
一行五十錢

日刊休 休刊日、日曜、大祭  
祝日ノ翌日

行發 川崎文治

所行發 福島縣石城郡  
宇長橋町卅五番地  
常磐毎日新聞社

祝發刊  
御旅館  
住吉屋支店  
平 驛 前  
電話一五九番

松島名産

カキ貝 御料理  
カキフライ  
カキなめし  
カキベ

一の井  
電話一六七番

東京 五ス  
コークス入荷  
一俵に付九貫入金一圓七十錢  
市内敏速に配達致します  
平町月見町  
佐藤鐵工所コークス部  
電話三六二番

推薦廣告  
第四區 公認候補者  
佐藤庄太郎君  
右縣會議員候補者として最適任者として認め極力其當選を期す  
立憲政友會本縣支部  
石城政友俱樂部  
第四區同志一同

讀書家新刊雜誌回讀

即時御加入あれ  
◇時代の潮流に棹さし豊富なる智識を吸収せんとする人は  
御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日目毎に一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覽に供す但冊数を減じ交換日を延ばす事を得

方法  
御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日目毎に一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覽に供す但冊数を減じ交換日を延ばす事を得

料金  
一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は日割或は冊數割とす

申込  
御加入される方は希望雜誌五冊を指定し住所氏名明瞭にハガキへ御記入の上申込次第直ちに配本す

一ヶ月遅れの諸雜誌  
御希望に依り五六割引にて分譲すべし  
平町宇長橋町三五  
川崎巡回文庫

私の見た記者としての川崎君

いはらき記者 宮田三朗

吾社の同人として前後七年間苦樂を共にした川崎君が獨力常磐毎日を経営するに際して私は限り無い歡喜と心算かに淡い誇りを感じず居られぬ。初め君から相談を受けた時私は無謀の舉と考へた、次で其内容を聞くに及んで飽迄周到な注意を拂つてある君獨得の企劃を知つて思はず天才と叫んだ更に一社一人主義を力

説する熱烈火の如き意氣に感した私は即座に同意を表すると共に爾來後援者の一人となつて健全なる發達を祈つて居る次第である。尙ほ私は君の壯なるスタートに饒けすべく以下次の苦言を饒けすべく『私の見た記者としての川崎君』を述べて見ようと思ふ。いふ迄も無く滿六ヶ年間の一つ鍋の私と君は相互に凡てを理解し合つて居る筈で君から見ても私のあらゆる欠點も長所も知り抜いてある如く私は川崎君の全人格特許に記者としての全部を理解して居る積りであり君は天才の量をも多く所有する記者として紹介するを憚らぬ就中鋭敏なメスの如き觀察眼に於ては先輩の私も幾度驚かされたか知れぬ程研切居る、記者と觀察の關係を知つて居る人に之丈で既に川崎氏が凡庸の記者で無い事に首肯されたと信じて居るが、更に君の特長として終始歴史的攻撃的である一點を見通す譯には行かぬ、一度恣ふと睨んだが最後徹底的に突き留めねば已まぬ美質は六ヶ年間の同人として奈何に有用に奈何に頼母しく感じられたか想起するに痛快の限りであつたのである (續)

### 憲派は後援の

#### 二字を借りて騒ぐ

草野氏に袖を振られて  
批難が多い一身の去就

強敵佐藤庄太郎氏現るゝと聞くや憲派の狼狽一方ならず警城銀行主事草野順平氏の立候補を肯すべく大いに徳意を試みたが其効を奏せず憲派内部の足なみ漸く亂れかゝつた時寧ろ草野氏は先手を打たば飽迄自分は一黨一派に偏する行動を執らずと稱して憲派の推薦を退け断然厳正中立を堅持し立候補を宣した爲め御輿を失つた憲派は途方に暮れた観あつたが醜女の深情け同様後援の二文字を借りて騒ぎ出した、而し今回草野氏一身の去就に關しては政派の反感を招き批難の焦點となつた爲め切つても切れぬ縁の親たる白井代議士を禍ひの

### 急遽東上

#### 出馬断念か?

憲派が後援すべきを揚言しつゝあつた草野順平氏は昨深更東京なる白井翁の招電に依つて急遽東上したが其際車窓に於て人に出馬断念すべきを告げたと稱されて居る

### 平青年と福島高商聯合

#### 若人の雄々しき叫び

明晩郡議事堂にて  
瀨谷教授も講演

平町青年團及び福島高等商業學校辯論部聯合主催の文化講演會は明十一日午後六時から郡議事堂に於て開會さるゝ筈であるが先づ永山勇吉氏の開辭に續いて平青年團よりは  
修養としての經濟學(柴田徳治)新聞賣子より見たる世相の一端(酒井清)

### 常磐影片

河内山宗俊の高畑のホクロと同様、攻めさしならぬ破目に陥つた草野順平氏厳正中立を標榜して飛び出す

館の中から金太郎サンが飛んで出たのは少々譯が違つて波紋が大きい

憲派は鬼の首でも取つた積りだらうがドッコイさうは問屋が卸さない

時代の趨勢が胚胎して生れ出やうとする大きな力のお

次郎氏の「經濟時局對策」と題する講演ある筈

### 怪しの男は

#### 三犯の曲者

八日夜石城郡内郷村地内を徘徊し居たる舉動不審の男を瀨戸駐在巡查が捉へて取

### 愈平郵便局に

#### ハガキが一枚もない

當分補充の来る見込なし

既報平郵便局は切手や端書が拂底を告ぐるに至り賣るに就いても制限を加へて居たが昨日迄廿五六枚あつた端書も愈本日となつては一枚もなく来月上旬にならねば補充がつかないから今後ハ製端書を使用して貰ひ度いとの事だ

### 平町に

#### 注射液なし

#### 各醫院大恐慌

#### 保健上の問題

愈々寒くなる——其爲めか平町地方には昨今チフテリア患者が多く一般家庭は恐慌を來して居るが殊に震災

### 入山慘劇事件言渡

#### 罰金三百圓を筆頭に

既報死傷五十餘名を出したロープ切斷の慘劇事件は本日午前十一時平區裁判所に曰井判事から各被告に左の言渡があつた  
(罰金二百圓)前坑務所長

### 自動車に向て

#### 狂者が飛込む

#### 一尺前で停車

石城郡内郷村磐城炭礦山口飯場大工職岡郡小名濱町生れ小野庄作(四七)は九日同郡好間村大字下好間なる娘の家に居たが午後四時十二分頃町田方面に疾走中なる軌道自動車目掛けて飛込みたる依り運轉手は急に齒車止り一尺位の處で停車し、狂者を得たが生作は精神に異常を呈し居る事とて家人が嚴重監視中である

### 大野村の

#### 學校閉鎖

#### チブス猖獗して

石城郡大野村第二小學校附近にチブス患者發生猖獗を極むる爲め明日より七日間學校を閉鎖する由

### 娼妓を

#### 誘拐した男

#### 平署に訴らる

平町鎌田遊廓甲子樓抱娼妓みやこ事福田ヨシ(二二)は馴染客なる所在不明宮城縣名取郡増田町生れ鐵道雇佐藤平助(三七)と本年八月廿三日午前二時半頃逃走したのが平助の誘拐したもののであるとて樓主より平署に告訴

### 遙々外國から

#### 種馬御入來

石城郡産馬畜産組合にて購入した種牡馬二頭の内の一頭ハクニ一は既に到着したが残る一頭のアンゴロルマは来る廿七日汽船鳥取丸にて神戸港着の豫定である

七日午前十時頃鮫川の上流にダイナマイトを投じ小魚を十尾位採捕し略式にて罰金卅圓

縦と松を盗む 双葉郡大野村大字大河原字北原佐藤留藏(二四)は本年七月同村國有林から縦立木及松木各一本を窃取し同廿五圓

### 平町人事

#### 出生

△搔槌小路 船生儀平四女  
△白銀町 武田國四郎長男  
△四丁目 志賀盛榮五男明

### 工場の取締

#### 平署工場主招集

最近本縣は工業地として擡頭して各所に諸種の工場濫出し衛生上や保安上取締りの急を告ぐるもの多きを爲め

今回工場法適用の各工場建設並びに移轉等に關し六日

縣報を以て工場取締規則を發令し来る十二月一日から

### 「纏の花」の

#### 映畫を試寫

既報緑川小頭の殉職を脚色

手先になつて噴火口上の舞踏を續ける憲派は誠に御愁傷様の次第だ

跳ねたり踊つたりして居る内に時代はドン／＼と先に御免を蒙りますよ

信榮幼稚園児が音樂會を開くと

ハトポツポの方が餘つ程意義がある